

## 令和5年度 事業報告

令和5年度においては、JR各社および鉄道弘済会のご援助により、計画した事業を予定通り実施することができました。

鉄道身障者福祉協会では、これまでは主として会員の福祉向上に向けた事業の運営を行ってまいりましたが、会員数の減少する中で、障害者福祉の向上を念頭に置いた運営を行っていくことも必要であると考え、学識者及び他の団体などと協議を進めております。また、顕彰事業において鉄道150年記念障害福祉賞を創設し、懸賞作品の募集を行いました。入賞者の作品は雑誌リハビリテーション臨時号に掲載して関係個所に配布いたしました。

各事業の概況は次のとおりです。

### 1. 低利融資事業（第一種社会福祉事業）

身障者の生活を維持向上させるため、経済的に援助することを目的として、昭和27年に開始されました。

当時、国鉄から200万円、鉄道弘済会から400万円のご寄付をいただき、資金が設けられました。その後鉄道弘済会からの特別助成金等により、現在資金は6,015万円となっています。

令和5年度の貸付および返済はありませんでした。

令和5年度から、現行制度下における医療用補装具制作費用の融資を実施したが、申込はありませんでした。

### 2. 更生相談事業（第二種社会福祉事業）

相談に応じた件数は、下表のとおり。

方法・内容	融資	生活	職業	年金等	医療	補装具	就学	共済他	計
面接									
通信				27		3		6	36
訪問									
計				27		3		6	36

(注) 取扱期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

前年同期に比べ43件の減となっています。

### 3. 顕彰事業（公益を目的とした事業）

#### （1）身障者下山賞

昭和24年故下山国鉄総裁のご遺族から贈られた寄付金をもとに、国鉄の業務上の事故により身体に障害を負った者の自立の努力による功績を顕彰するために設けられたものです。

表彰は、令和元年度の第70回で区切りといたしました。

#### （2）特別功労賞

平成14年、鉄道身障者福祉協会の創立50周年記念として、地方協会の発展に特段に功労のあった会長又は、地方協会三役として永きにわたり会長を支え、会長に準ずるような功労のあった者等を表彰する制度を設けました。

令和5年度の推薦はありませんでした。

#### （3）鉄道90年記念奨励賞

昭和37年鉄道開業90周年の記念事業として設けられた顕彰事業で、当時国鉄から300万円、鉄道弘済会から200万円のご寄付をいただき、これを基金として創設されました。

令和2年度の第58回の表彰をもって鉄道90年記念奨励賞の表彰制度を終了といたしました。

#### （4）鉄道150年記念障害福祉賞

鉄道開業150年の記念事業として障害福祉等の顕彰作品募集を新規事業として創設し公募を行いました。

### 4. 出版事業

当協会の発行していた身障者福祉専門誌「リハビリテーション」は、昭和28年に創刊し、令和2年度末で626号を数えます。発行回数は年10回で、毎号あたり3,600部発行していました。なお、公益財団法人鉄道弘済会にご援助いただき、全国の施設・JR各本社及び主要駅等にも贈呈していました。

令和2年度の9月号、11月に懸賞作品特集の臨時号発刊以降休刊しております。

## 5. 義肢製作費補助事業

鉄道従事者に肢切断による公務障害者が多いことから、鉄道弘済会では義肢を製作する場合に障害者本人が負担する経費を補助する制度を設けていましたが、当協会の会員の利用が多いことなどから、昭和62年に制度の移管を受けたものです。

令和5年度中の取扱い件数は10件で、給与した金額は7.8万円となっております。これは、令和4年度と比較して件数は4件減、金額は7.1万円の減となっております。

## 6. 共済事業

会員相互の助け合い精神を深め、災害、死亡等の不幸に際して経済的な援助を行うため、昭和33年から実施しています。

現在の総資産は、4,621万円です。

令和3年度共済制度の見直しを行い、大規模災害発生時の救済を目的とすることといたしました。

令和5年度は、秋田地区の水害発生に伴う被災に対し1件の給付を行いました。

## 7. 創立100周年記念事業

鉄道身障者福祉協会では協会発足100周年を記念して、1世紀にわたる会員のあゆみを集約した100年史の編纂を行うこととし、令和3年12月に鉄道弘済会2名、鉄道身障者福祉協会6名による百年史検討会を発足し、資料の検討をすすめてまいりました。

令和5年度は、百年史検討会を5回開催し、資料の検討を行っております。

## 8. JR会社増収協力活動

かねてより当協会会員に対し、JR会社への増収協力を呼びかけており個人旅行や家族旅行実施などの実績を報告してもらっている。

令和5年度中の実績は次のとおりです。

(単位：千円)

期別	件数	延人員	金額
令和5年度計(A)	237	335	3,731
令和4年度計(B)	325	388	3,853
増減(A)－(B)	△88	△53	△122

### 資金収支計算書

(自令和5年4月1日至令和6年3月31日)

### 事業活動計算書

(自令和5年4月1日至令和6年3月31日)

### 貸借対照表

(令和6年3月31日)

勘定科目		予算	決算	増減	勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減			
事業活動	収	事業活動収入計	9,282	10,996	△ 1,714	サービス活動	収益	サービス活動収益計	7,500	0	7,500	流動資産	121,441	124,695	△ 3,254
	支	事業活動支出計	13,218	13,162	56			費用	サービス活動費用計	13,162	10,809	2,353	固定資産	10,461	10,461
	活動資金収支差額		△ 3,936	△ 2,166	△ 1,770		サービス活動増減差額		△ 5,662	△ 10,809	5,147	資産の部合計	131,902	135,156	△ 3,254
施設整備等	収	施設整備等収入計			0	サービス活動外	収益	サービス活動外収益	3,496	4,205	△ 709	流動負債	696	1,785	△ 1,089
	支	施設整備等支出計			0			費用	サービス活動外費用計			0	固定負債		
	施設整備等資金収支差額		0	0	0		サービス活動外増減差額		3,496	4,205	△ 709	負債の部合計	696	1,785	△ 1,089
その他	収	その他の活動収入計			0	経常増減差額		△ 2,166	△ 6,604	4,438	基本金	10,461	10,461	0	
	支	その他の活動支出計			0	特別増減	収益	特別収益計			0	次期繰越活動増減差額	120,744	122,910	△ 2,166
	その他の活動資金収支差額		0	0	0			費用	特別費用計			0	(うち当期活動増減差額)	△ 15,264	△ 9,329
予備費支出				0	特別増減差額		0		0	0	純資産の部合計	131,205	133,371	△ 2,166	
当期資金収支差額合計		△ 3,936	△ 2,166	△ 1,770	当期活動増減差額		△ 2,166	△ 6,604	4,438	負債及び純資産の部合計	131,901	135,156	△ 3,255		
前期末支払資金残高		122,909	122,910		繰越活動	前期繰越活動増減差額		122,910	129,514	△ 6,604	注1) 千円未満切捨て				
当期末支払資金残高		118,973	120,744	△ 1,771		当期末繰越活動増減差額		120,744	122,910	△ 2,166	注2) 単位: 千円				
						次期繰越活動増減差額		120,744	122,910	△ 2,166					

# 財 産 目 録

別紙 4

(令和06年03月31日 現在)

社福) 鉄道身障者福祉協会5

法人事業合計 1 様式

(単位: 円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取 得 価 額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1. 流動資産</b>						
現金預金						
現金	本部他		運営資金			25,584
預金						81,684,716
普通預金			事業資金合計			80,229,870
普/三菱UFJ 90978	三菱UFJ銀行		本部事業資金			2,118,561
普/三井住友信託 3473	三井住友信託銀行		本部事業資金			367,443
普/三井住友 618475	三井住友銀行		融資事業資金			48,181,197
普/三井住友信託 3464	三井住友信託銀行		融資事業資金			1,968,662
普/みずほ 1201739	みずほ銀行		共済事業資金			10,062,799
普/三井住友信託 3206	三井住友信託銀行		共済事業資金			6,423,066
三菱UFJ 76570 顕彰口	三菱UFJ銀行		顕彰事業資金			651,629
三菱UFJ 76596 出版口	三菱UFJ銀行		出版事業資金			475,438
三菱UFJ 77275 更生口	三菱UFJ銀行		更生事業資金			9,957,708
三井住友信託銀、東京	三井住友信託銀行		本部事業資金			23,367
ゆうちょ銀行 4362668	ゆうちょ銀行		出版事業資金			
振替貯金	ゆうちょ銀行					1,454,846
小計						81,710,300
有価証券						39,730,700
第152回共同発行市場						10,000,000
第181回利付国債						10,000,000
第182回利付国債						9,763,200
第180回利付国債						9,967,500
事業未収金						
流動資産合計						121,441,000
<b>2. 固定資産</b>						
<b>(1) 基本財産</b>						
土地						
建物						
定期預金						10,461,000
基本財産合計						10,461,000
<b>(2) その他の固定資産</b>						
土地						
建物						
構築物						
その他の固定資産合計						
固定資産合計						10,461,000
資産の部合計						131,902,000
<b>II 負債の部</b>						
<b>1. 流動負債</b>						
短期運営資金借入金						
事業未払金						
その他の未払金						
未払費用						507,002
預り金						16,571
職員預り金						
前受収益						172,500
流動負債合計						696,073
<b>2. 固定負債</b>						
貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取 得 価 額	減価償却累計額	貸借対照表価額
設備資金借入金						
長期運営資金借入金						
固定負債合計						
負債合計						696,073
差引純資産						131,205,927

# 監査報告書

令和6年5月20日

社会福祉法人 鉄道身障者福祉協会

理事長 辻 等 殿

監事 川上 香夫 

監事 関根 実成 

監事 川崎 清隆 

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の理事の職務執行状況について監査を行いました。

その方法及び結果については、次の通り報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る計算関係書類（事業報告及び附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

## 2 監査の結果

### ①事業報告等の監査結果

一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### ②計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況等、すべての重大な点において適正に示しているものと認めます。